

TAKE NINAGAWA

バイオグラフィー

泉太郎

Taro Izumi

1976年奈良県生まれ

現在東京都在住

2002 多摩美術大学院美術研究科 修士課程修了

主な個展

- 2024 「公開オペレーション：《ドリームランド》泉太郎」なら歴史芸術文化村, 奈良
- 2023 「Sit, Down. Sit Down Please, Sphinx.」東京オペラシティ アートギャラリー
- 2022 「あへつくり」CAPSULE, 東京
「コドクエクスペリメント」Take Ninagawa, 東京
- 2021 「電源」CAPSULE, 東京
- 2020 「ex」ティンゲリー美術館, バーゼル
「コンパクトストラクチャーの夜明け」Take Ninagawa, 東京
「とんぼ」Minatomachi POTLUCK BUILDING, 名古屋
- 2019 「スロースターター バイ セルフガイダンス」名古屋芸術大学 Art & Design Center, 愛知
- 2018 多摩美術大学八王子キャンパス アートテーク・ギャラリー, 東京
「My eyes are not in the centre」White Rainbow, ロンドン
- 2017 「突然の子供」金沢21世紀美術館, 石川
「←連絡」Take Ninagawa, 東京
「Night Lie」Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, パリ
「Pan」パレ・ド・トーキョー, パリ
- 2015 「わら時、ポ会の術 (多孔式豆腐における内臓体消失研究チーム発表会)」
Art Center Ongoing, 東京
- 2014 「合同ピ、解放ポ」Take Ninagawa, 東京
「No Night, Day Neither」Nassauischer Kunstverein, ヴィースバーデン, ドイツ
- 2013 「連絡→」HIGURE 15-17 cas, 東京
「眩む足場/しびれる足に寄り添ううなぎ」hiromiyoshii roppongi, 東京
「CSLab Exhibition vol.2: 泉太郎 『貝塚と生活』」東京造形大学 CS-Lab, 東京
「たしかめる」アーツイニシアティヴトウキョウ (AIT), 東京
「皺の源」Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, パリ
- 2011 「ヤブ医者/髭の中」スプラウト・キュレーション, 東京
「勇ましいあくび」hiromiyoshii, 東京
「cloud, looks like a spider」NADiff Window Gallery, 東京
「動かざる森の便利, 不便利: Tamagawa Art Gallery Projects 2011-2012 no.4」玉川大学, 東京

TAKE NINAGAWA

- 2010 「こねる」神奈川県民ホールギャラリー, 横浜
「捜査とあいびき」 hiromiyoshii, 東京
「くじらのはらわた袋に隠れる、ネズミ」 アサヒ・アートスクエア, 東京
- 2009 「山がでできずに穴できた」 NADiff a/p/a/r/t, 東京
「ヘルシンキ」 Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, パリ
- 2008 「マジシャンのパン・日食」 hiromiyoshii, 東京
「junglebook」 gallery stump Kamakura, 神奈川
- 2007 「ゲーム台 (倉)」 buro13 by hiromiyoshii, 東京
- 2006 「トロッコ」 hiromiyoshii, 東京
- 2005 「GENIUS EPISODE 1&2」 Hiromi Yoshii Five, 東京
- 2003 「ザイレント」 麴町画廊, 東京
- 2002 「バーゲン (仮)」 Pepper's loft Gallery, 東京

主なグループ展

- 2024 「FAIRE CORPS」 Villa Datriis Foundation, リル=シュル=ラ=ソルギユ, フランス
「Endeavours and Masterpieces」 Frac Sud - Cité de l'art contemporain, マルセイユ, フランス
- 2023 「山梨国際芸術祭 八ヶ岳アート・エコロジー 2023」 清春芸術村, 山梨
「ねこのほそ道」 豊田市美術館, 愛知
- 2021 「Try the Video-Drawing」 TAV Gallery, 東京
- 2020 「コレクション1: 越境する線描」 国立国際美術館, 大阪
- 2019 「開館15周年記念: 現在地-未来の地図を描くために [2]」 金沢21世紀美術館, 金沢
「あそびのじかん」 東京都現代美術館, 東京 (ハンバーグ隊の一員として)
「百年の編み手たち-流動する日本の近現代美術-」 東京都現代美術館, 東京
- 2018 「うごくとまる」 ハラ ミュージアム アーク, 群馬
「Visions of Exchange: Mercedes-Benz Art Scope Award 2009-2017」
Daimler Contemporary, ベルリン
「10th Anniversary」 Take Ninagawa, 東京
「Par amour du jeu 1998-2018」 Magasins généraux, パンタン, フランス
- 2017 「In Focus: Contemporary Japan」 ミネアポリス美術館, ミネソタ州
「Japanorama-1970年以降の新しい日本のアート」 ポンピドゥ・センター・メッス, メッス
「Japanese Connections」 Nikolaj Kunsthal, コペンハーゲン
「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2015-2017-漂泊する想像力」 原美術館, 東京
- 2016 「Une Forme olympique」 キャンパスHEC, パリ
「Paradoxa. Japanese Art Today」 Casa Cavazzini, ウディネ, イタリア
「Paris Champ & Hors Champ」 Galerie de l'Alliance Française,
(メンドサ); (レシフェ); (ジヨアン・ペソア); (メデジン); (ペレイラ); (マニサレス)
- 2015 「Paris Champ & Hors Champ」 Galerie de l'Alliance Française, (ブエノスアイレス); (コルドバ)
「われらの時代: ポスト工業化社会の美術」 金沢21世紀美術館, 金沢
- 2014 「Paris Champ & Hors Champ」 パリ市立図書館ギャラリー, パリ
「コレクション II」 国立国際美術館, 大阪
「開館20周年記念 MO T コレクション特別企画: クロニクル1995-」 東京都現代美術館, 東京
「Japon」 メマック市立現代アート・センター, フランス

TAKE NINAGAWA

- 「Portrait de 3/4」 Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, パリ
- 2013 「Double Message」 SCAI the Bathhouse, 東京
「六本木クロッシング 2013: アウト・オブ・ダウト-来たるべき風景のために」 森美術館, 東京
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2013」 六甲山, 兵庫
「ユーモアと飛躍」 岡崎市美術博物館, 愛知
「Identity IX」 nca | nichido contemporary art, 東京
「MOTコレクション 第2部: ぼくからきみへ-ちかくてとおいたび-」 東京都現代美術館, 東京
「アートがあれば11-9人のコレクターによる個人コレクションの場合」
東京オペラシティ アートギャラリー, 東京
「であ、しゅとるむ」 名古屋市民ギャラリー矢田, 愛知
- 2012 「But Fresh」 トーキョーワンダーサイト本郷, 東京
「Voice of Images」 フランソワ・ピノー財団/Palazzo Grassi, ヴェネツィア
「The Echo 2012 Berlin」 Kunstraum Kreuzberg/Bethanien, ベルリン
「リアル・ジャパネスク-世界の中の日本現代美術」 国立国際美術館, 大阪
「Humour, parodie et vidéos: créations vidéo du Japon contemporain」 日本文化会館, パリ
「池田シゲルキュレーション展: 縁側つなわたり・無理強い時計」 Talion Gallery, 東京
「泉太郎キュレーション展: 有袋類」 Talion Gallery, 東京
「小金井アートフル・ジャック! バミューダトライアングル」 シャトー小金井, 東京
- 2011 「オムニログ: オルタネイティング カレント: 3.11以降の日本現代美術」
Perth Institute of Contemporary Arts (PICA), パース
「ヨコハマトリエンナーレ 2011 OUR MAGIC HOUR-世界はどこまで知ることができるか?」
BankART Studio NYK, 横浜
「Invisibleness Is Visibleness: International Contemporary Art Collection of a Salaryman -
Daisuke Miyatsu」 台北現代美術館, 台北
「サイレント・ナレーター それぞれのものがたり」 東京都現代美術館, 東京
「JAPANCONGO: Carsten Hollers double-take on Jean Pigozzi's collection」
グルノーブル現代アートセンター (グルノーブル); モスクワ現代美術センター (モスクワ);
パラッツォ・レアーレ (ミラノ)
「Shifting Surfaces : Experience, Perspectives and Media」
アートソンジェ美術館, キョンジュ, 韓国
「暴力と宇宙」 island, 千葉
- 2010 「Trust: Media City Seoul 2010」 ソウル市立美術館, ソウル
「MOTコレクション 入り口はこちら-何がみえる?」 東京都現代美術館, 東京
「CITY 2.0 - WEB世代の都市進化論」 Eye of Gyre, 東京
「Media Landscape, Zone East」 Contemporary Urban Centre, リバプール
- 2009 「日常/場違い」 神奈川県民ホールギャラリー, 横浜
「Twist and Shout: Contemporary Art from Japan」 Bangkok Art and Culture Centre, バンコク
「Extra/Ordinary: Video Art from Asia」 スペンサー美術館, カンザス大学, ローレンス
「POST.O: The Reverse of TOPOS」 Garden City Space of Art, 台北
「動物園にエイゾウがやってきた!!」 ヨコハマ国際映像祭 2009, 横浜市立野毛山動物園, 横浜
「こども+おとな+夏の美術館 まいにち、アート!!」 群馬県立近代美術館, 群馬
「ウィンター・ガーデン: 日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」 (巡回展),

TAKE NINAGAWA

Champasri Art Gallery, マハーサーラカム大学 (タラット); Koala space (天津); 53美術館 (広州); 香港アート・センター (香港); 高雄市文化センター (高雄); マラヤ大学美術館 (クアラルンプール); Muzium & Galeri Tuanku Fauziah, マレーシア科学大学 (ペナン); Omani Society Fine Arts (マスカット); M16 Artspace (キャンベラ); Gallery Central (パース); メトロポリタン美術館 (マニラ); 龍頭山美術展示館 (プサン); 安養ロッテ・ギャラリー (アンヤン); 済州道立美術館 (チェジュ); 在大韓民国日本国大使館広報文化院 (ソウル); ホーチミン市労働文化会館展示館 (ホーチミン); ベトナム国立美術博物館 (ハノイ); シントラ現代美術館 (シントラ); アリカンテ大学美術館 (アリカンテ); Theocharakis Foundation Museum (アテネ); マルミタロ (ヘルシンキ); Gezira Art Center (カイロ); Tkachi (サンクトペテルブルク); 国立現代美術センター (モスクワ); エルンスト美術館 (ブダペスト); メキシコ国自治大学附属チョポ美術館 (メキシコシティ); トロント日本文化センター (トロント); 日米文化会館 ドイザキギャラリー (ロサンゼルス); Aberystwyth Arts Centre (アベリストウィス); ローマ日本文化会館 (ローマ); ケルン日本文化会館 (ケルン); 原美術館 (東京)- 2016

「Re: Membering - Next of Japan」 Alternative Space LOOP, ソウル

「ビデオを待ちながら: 映像, 60年代から今日へ」 東京国立近代美術館, 東京

「Unlimited」 アプリュス (A+),

2008 「Between Art and Life」 ジュネーヴ現代美術センター, ジュネーヴ

「Tokyo Nonsense」 Scion Installation, ロサンゼルス, カリフォルニア州

「The Echo」 ザイム, 横浜

「Landmark Project 3 国道16号線を越える! ←野毛にいこう」 野毛山地区, 横浜

「食と現代美術」 BankART1929, 横浜

2007 「Techniques of Storytelling - speaking of unspeakable」 SSamzie Space, ソウル

「Out of the Ordinary: New Video from Japan」 ロサンゼルス現代美術館, カリフォルニア州

「Collector's Choice: Collection 2」 デリーム現代美術館, ソウル

「夏への扉-マイクロポップの時代」 水戸芸術館 現代美術ギャラリー, 水戸

2006 「After the Reality」 Daitch Project, ニューヨーク

「福武ハウス in 越後妻有アートトリエンナーレ 2006」 名ヶ山小学校, 新潟

「Theory of Everything: Videoart from Tokyo」 Caochangdi Workstation Art Center (北京);

tank.tv; Location One (ニューヨーク); ニューヨーク大学 (ニューヨーク)

2005 「ザ・ワールド・イズ・マイン」 Hiromi Yoshii Five, 東京

2004 「フィールド・オブ・ドリームズ」 小山登美夫ギャラリー プロジェクト・ルーム, 東京

2001 ギャラリー・ルデコ, 東京

その他の活動

2014 「JINS Art Project」 JINS 吉祥寺ダイヤ街店, 東京

2013 「hubn't ArtCenter Ongoing」 Art Center Ongoing, 東京 [Orrorinメンバーとして参加]

「徒歩の屋根」 六本木アートナイト, 六本木ヒルズ, 東京 [泉太郎+Orrorinとして参加]

2012 「焚き火」 blanClass, 横浜

「すみだ川アートプロジェクト 2012」 アサヒ・アートスクエア, 東京

[山賀ざくる (ダンサー) とのコラボレーション]

2011 「はい! 僕です、本当に?: オンゴーイング・スクール」 Art Center Ongoing, 東京

2010 「吾妻橋ダンスクロッシング」 アサヒ・アートスクエア, 東京

TAKE NINAGAWA

- 「さまよえる三つ子の魂」 荻窪ベルベットサン, 東京
2008 「山賀ざくるとのコラボレーション」 トヨタ コレオグラフィアワード 2008, 東京
2007 「山賀ざくるとのコラボレーション, HARAJUKU PERFORMANCE+」 ラフォーレ原宿, 東京

スカラシップ、レジデンシー

- 2018 Delfina Foundation, ロンドン
2017 SAM Art Projects, パリ
2015 メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2015-2017, ベルリン
2014 The Follow Fluxus - After Fluxus Grant, Nassauischer Kunstverein, ヴィースバーデン, ドイツ
2013 The Japan-UK Residency Exchange Programme 2013, Cove Park, ヘレンズバラ, イギリス

主なパブリック・コレクション

- 金沢21世紀美術館
国際交流基金
国立国際美術館
東京都現代美術館
JINS
ダラス美術館
FDAC セーヌ・サン・ドニ県現代美術コレクション
FMAC パリ市立現代美術コレクション
M+
ジャン・ピゴッツィ・コレクション
フランソワ・ピノー財団
スペンサー美術館, カンザス大学
Kadist Art Foundation